

吉良外務大臣政務官のペルー及びチリ訪問について

平成22年3月15日

吉良州司（きらしゅうじ）外務大臣政務官は、3月8日（月曜日）から14日（日曜日）にかけてペルー及びチリを訪問したところ、概要次のとおり。

1. 主な会談等

(1) ペルー

3月9日 ガルシア・ベラウンデ外務大臣、アラオス経済財政大臣、フェレイロス通商副大臣との会談

(2) チリ

3月10日 ピニェラ次期大統領、バチェレ大統領、フロレス次期内務省地方開発局次官との会談

3月11日 チリ大統領就任式典等出席、アンドラーカ日智経済委員長との会談

3月12日 ゴルボーン鉱業大臣、シュミット外務次官、コロマ上院議員との会談

2. 成果

(1) ペルー

(イ) ペルー側との間で、EPA交渉の早期妥結の重要性を改めて確認。

(ロ) ガルシア・ベラウンデ外務大臣との会談において、二国間関係の強化に加え、地球規模課題の解決に向けパートナーとして取り組んでいくことで一致。特に、気候変動及び核軍縮での連携が強調された。

(ハ) 吉良政務官立ち会いの下で交換公文署名式が行われた無償資金協力「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」及び「新マカラ国際橋建設計画」をペルー側は高く評価。

(2) チリ

(イ) 大統領就任式典に特派大使として出席するとともに、ピニェラ大統領を始めとする多くの新政権等の要人と会談を行い、大地震被害に対するお見舞いを述べつつ、被災建物診断専門家の緊急派遣決定を含む日本政府の緊急支援につき説明し、復興・復旧に向けても協力する考えを伝達。先方からは日本の支援への深い感謝が表明されるとともに、地震国としての日本の知見と経験を活かした支援への高い期待が示された。

(ロ) 経済関係を中心に両国関係を一層強化していくことで一致。特にチリ側は、11月の横浜でのAPECの機会の要人訪問を重視。

(ハ) ゴルボーン鉱業大臣との会談において、鉱物資源分野で両国間の互惠関係を更に深化させていくことで一致。特に先方は、日本からの同分野への投資を歓迎し、チリ政府として必要な支援を行う旨表明。

---写真---



交換公文署名式典後、握手を交わす吉良政務官とガルシア・ベラウンデ・ペルー外務大臣



アラオス・ペルー経済財務大臣との会談



ピネラ・チリ次期大統領との会談



バチェレ・チリ大統領と言葉を交わす吉良政務官

(了)